



第20回常任理事会

日時 平成23年1月11日（火）18：32～20：19
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、水元・大口各監事（事務局：島影事務局長ほか11名）

協議事項

第1号 北海道医師会代議員および予備代議員の定数に関する件（深澤常任理事）

定款第34条・第35条にうたわれているように、代議員の定数は毎年12月末日現在の会員数によって決定される。それによると北海道大学医師会が1名減員となることから、本会の代議員総数を現在の115名から114名とすることと決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邊常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座43件、道医認定生涯教育講座26件、合計69件を承認することと決定。

報告事項

1. 第2回男女共同参画検討会[12月21日(火)]について（藤井常任理事）

道地域医師確保推進室の担当者から「女性医師等勤務環境整備事業」の各種補助金について説明を受け、それに基づきフリートーキングを行った。次回は、2月中に開催することとしている。

2. 第1回健康スポーツ医学推進委員会 [12月22日(水)]について（柳山常任理事）

第17回日医認定健康スポーツ医制度再研修会の開催日程等を決定し、同制度の実施要領の改定ならびに移行措置について協議した。

3. 「うつ病・自殺予防に関する産業医等と専門医との連携システム」研修会[1月9日(日)]について（小山常任理事）

「富士モデル・紹介システムにおけるかかりつけ医の役割」と題し、静岡県富士市の池辺クリニック・

池邊紳一郎院長より、うつ病・自殺予防対策に関する産業医等と専門医との連携システムについて講演いただいた。参加者は209名。

4. 第2回産業保健活動推進委員会小委員会[1月9日(日)]について（小山常任理事）

同日開催の研修会に引き続き、池辺クリニック・池邊紳一郎院長を交えながら、北海道モデル（うつ病・自殺予防対策に関する産業医等と精神科医との連携システム）を構築すべく種々意見交換を行った。

5. 日医理事会報告（長瀬会長）

高齢者医療制度改革会議（第14回）の件、平成23年度税制改正大綱の件等について報告があった。

6. 外部各委員会報告

(1) 北海道介護保険審査会三者代表合議体 [12月14日(火)]について（前川常任理事）

介護保険料賦課処分に係る審査請求について、6件の審理を行った。

(2) 北海道地域包括・在宅介護支援センター協議会第2回正副会長・幹事合同会議 [12月27日(月)]について（前川常任理事）

事務局より平成22年度事業報告、今後の実施予定などについて報告。続いて、22年度北海道地域包括・在宅介護支援センター研究協議会の内容について協議を行った。

7. 中央情勢報告（直江常任理事）

厚労省の高齢者医療制度改革会議が示した「高齢者のための新たな医療制度等について（最終とりまとめ（案））」について、各界の意見を含めて報告した。国保の財源強化がなく、患者の負担増になる本案を最終取りまとめとする拙速な施行は問題であるとした。また、医療滞在ビザについては、営利企業が組織的に関与する医療ツーリズムに発展し、皆保険制度を崩壊させる端緒にならないよう、監視が必要と述べた。

8. その他

(1) 主治医意見書マニュアル評価モデル事業について（前川常任理事）

先般日医より協力依頼のあった旭川市の医師ならびに認定審査会委員を対象とした「主治医意見書の記載に関するアンケート調査」とともに、別に事前の評価モデル事業として20名ほどの会員医師に意見書の記載支援ツール暫定版を用いて主治医意見書を作成してもらうこととなっている。今後、日医の介護保険委員会からの事業説明が予定され、その後、約1ヵ月をかけて進められる。

道総医協関連事項（三宅副会長）

1. 地域医療専門委員会[12月21日(火)]について（宮本副会長）

昨年度策定した「北海道地域医療再生計画」の検証ならびに平成22年度補正予算の地域医療再生特例交付金措置に伴う地域医療再生計画の策定にあた

り、引き続き7名を臨時委員として委嘱することの報告があった。その後、三次医療圏単位に15億円を基準額として交付される新たな「北海道地域医療再生計画」の内容および北網地域と南檜山地域医療再生計画の進捗状況について説明がなされた。

2. 地域保健専門委員会 第2回循環器疾患対策小委員会[12月21日(火)]について(藤原常任理事)

昨年7月に実施した「平成22年度脳卒中・急性心筋梗塞の急性期医療実態調査(夏期)」に関する報告を受け、分析作業協力者3名を了承した。また、平成23年1月から2月に実施予定の同実態調査(冬期)調査項目の一部追加を了承した。

第21回常任理事会

日時 平成23年1月25日(火) 18:30~20:57
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、水元・大口各監事
(事務局: 島影事務局長ほか12名)

協議事項

第1号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座35件、道医認定生涯教育講座36件、合計71件を承認することと決定。

第2号 その他

○ 2月行事予定に関する件(事務局)

報告事項

1. 緊急臨時的医師派遣事業第11回運営委員会[1月12日(水)]について(宮本副会長)

延長申請1件と新たに派遣申請のあった1医療機関の状況について条件を精査の上、派遣を決定した。

2. 新たな地域医療再生計画に関する意見交換会[1月17日(月)~24日(月)]について

(直江常任理事)

平成22年度補正予算の地域医療再生特例交付金措置に伴う地域医療再生計画の策定にあたり、事業案がある医療機関・関係団体と北海道・各総合振興局保健環境部等により各三次医療圏において意見交換会が行われた。なお、いずれの圏域でも交付金基準額を上回る事業案の説明があり、今後、各圏域で取りまとめが行われ、総医協地域医療専門委員会の議を経て、北海道の計画として提出されることが予想される。

3. 第2回都道府県医師会長協議会[1月18日(火)]について(三宅副会長)

医師国民健康保険組合に対する適正な国庫補助金の存続について、指導大綱の見直しについて等、12

題の協議があった。詳細は日医ニュースを参照願いたい。

4. 都道府県医師会共同利用施設担当事連絡協議会[1月19日(水)]について(北野常任理事)

医師会病院や検査センターなど医師会共同利用施設を抱える医師会における公益法人制度改革への対応に関する函館市・富山市両医師会から報告と、日医共同利用施設検討委員会報告の説明が行われ、医師会共同利用施設を巡る諸問題について協議を行った。その中で、日医総研・畑仲主任研究員から医師会病院が公的医療機関として認められるよう日医を通じて働きかけたいとの説明があった。

5. 第27回北海道医療・福祉関係職能団体等懇談会[1月21日(金)]について(北野常任理事)

薬剤師会、看護協会等27団体45名に出席していたき懇談会を開催した。本年度は北海道介護福祉士会から、介護職員によるたんの吸引等の試行事業(不特定多数の者対象)を社団法人日本介護福祉士会北海道支部として実施しての中間報告について、北海道薬剤師会と北海道病院薬剤師会からは、病院・薬局薬剤師を取りまく現況について、それぞれ話題提供をしていただき、その後、意見交換を行った。

6. かかりつけ医認知症対応力向上研修[1月23日(日)]について(前川常任理事)

長瀬会長の挨拶に引き続いて研修に入り、講義Ⅰ「基礎知識編」、Ⅱ「診断編」、Ⅲ「治療とケア編」、Ⅳ「連携編」を各々藤原・直江・北野各常任理事および札幌市保健福祉部・鎌田精神医療担当部長の4人の講師より説明し、講義ごとに質疑応答が行われた。参加者は90名であった。

7. 日医理事会報告(長瀬会長)

協議等に関しては、すでに日医速報で報じており、そちらを参照願いたい。なお、事前の打合せ会にて、医療ツーリズムや医師養成、医療基本法等について意見を交換した。

8. 日医各委員会報告

(1) 救急災害医療対策委員会[1月12日(水)]について(目黒常任理事)

会長諮問「医師会による救急災害医療対策の推進」に基づき、災害医療対策、救急医療体制、搬送受入れ実施基準、メディカルコントロール体制等について協議した。その後、搬送受入れ実施基準策定に伴い義務付けられた医療機関リストの公表について意見交換が行われた。

(2) 介護保険委員会[1月13日(木)]について

(前川常任理事)

外部審議会の審議状況および社会保障審議会介護保険部会等の報告中、介護職員による医行為としてのたん吸引については、一定の研修を修了した者が実施可能となりそうだが、日医としては、「医行為」から外すという立場で進めて

いきたいとの考え方が示された。また、各委員より意見が出され、グループホームでの投薬問題、認知症対応力向上研修終了者への評価などについて自由討論が行われた。

(3) 産業保健委員会〔1月13日(木)〕について
(小山常任理事)

1月27日開催予定の第32回産業保健活動推進全国会議のプログラムの確認と、会長諮問「地域産業保健センターと産業保健推進センター並びにメンタルヘルス対策支援センターの再構築と医師会の関わり方」に関する中間答申案について全国的な状況を踏まえながらフリートーキングを行った。また、日医認定産業医制度の基礎研修会についてテレビ会議システムを利用した形式で開催することが認められたとの報告があった。

(4) 社会保険診療報酬検討委員会〔1月19日(水)〕について(藤原常任理事)

はじめに中央情勢報告として、日医・鈴木常任理事より中医協等の審議状況について、日医・三上常任理事より高齢者医療制度改革会議の最終とりまとめについて、詳細な報告がなされた。続いて、諮問事項①「平成22年度診療報酬改定の評価」に関する意見交換を行い協議した。次回委員会より、次期(平成24年度)診療報酬改定に対する要望項目の意見取りまとめを行うが、小職からの要望項目提出に当たっては、事前に各郡市医師会に意見を伺ったうえで提出する予定である。

(5) 会長選挙制度に関する検討委員会〔1月19日(水)〕について(長瀬会長)

これまでに、日医会長選挙の問題点やその改善方法等につきアンケートを行い、寄せられた種々の意見を参考に、改善策をまとめるべく協議を行った。定款等の具体的な変更については定款・諸規程改定検討委員会にて検討することになると思うが、当委員会としては「こうあるべきである」という答申を行う。

(6) 広報委員会〔1月20日(木)〕について
(山科常任理事)

TV会議システムにより参加した。協議では、日医ホームページ検討WG・日医ニュース編集WGのそれぞれの座長から、活動・進捗状況報告がなされた後、日医ニュースアンケート調査(案)について検討した。また、新しいTV-CMについて報告があった。

(7) 学校保健委員会〔1月20日(木)〕について
(三戸常任理事)

運動器の健診に関するワーキンググループからの報告と、会長諮問「地域医療の一環としての学校保健活動のあり方と勤務医の参加」に関するフリートーキングを行った。また、文部科

学省の23年度予算に対する要望について検討した。

9. 外部各委員会報告

(1) 電子レセプト情報等データベースシステム整備事業運営調整委員会〔1月24日(月)〕について
(直江常任理事)

地域医療再生基金を活用した整備事業に関する、第2回運営調整委員会が開催され、レセプトデータの収集状況・分析方法等について協議をした。収集・分析したデータにより、北海道・市町村等が、患者の受療動向、地域医療の提供体制・ニーズを把握し、あるべき地域医療にどのように反映していくかを協議し、また、各種データの公開については慎重に対応すべき問題であることから、今後さらに検討を重ねることとなった。

10. 中央情勢報告(直江常任理事)

労働時間管理の適正化等、看護師等の勤務環境や雇用管理の改善に関することを検討するために、厚労省に「看護師等の『雇用の質』の向上に関する省内プロジェクトチーム」が設置されたが、看護職員のみを特定して雇用の質を論ずるのは、医療全体にひずみを生むとして、その設置に反対する申し入れ書を、日医と四病院団体協議会が、去る12月24日に厚労省に提出した経緯などについて報告した。

11. 各部報告

(1) 「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」に関する意見の募集について(渡邊常任理事)

厚労省医道審議会医師分科会医師臨床研修部会において、23年度の臨床研修において継続された、研修医の募集定員に関する激変緩和措置等に対する24年度以降の対応について意見がとりまとめられた。内容は臨床研修病院の募集定員および都道府県別の募集定員の上限に係る激変緩和措置の26年度までの継続と、次回の制度見直しの際に併せて廃止することとしたことについての意見募集として、パブリックコメントが2月12日(土)を期限として行われている。意見があれば事業第三課宛連絡いただきたい。

(2) 「医学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に向けて(中間とりまとめ案)」に関する意見の募集について(渡邊常任理事)

文科省モデル・コアカリキュラム改訂に関する連絡調整委員会および専門研究委員会において、基本的診療能力の確実な習得、地域医療を担う意欲・使命感の向上などの観点から同カリキュラムの改訂について検討を行い、中間とりまとめ案がまとめられた。今般、同案に対する意見募集としてパブリックコメントが1月28日(金)を期限として行われているので、意見があれば提出していただきたい。

(3) 「医師養成についての日本医師会の提案－医学部教育と初期臨床研修制度の見直し－(案)」に関する意見の募集について（渡邊常任理事）

日医グランドデザイン見直しの一環として、執行部内で協議してまとめられた医師養成についての提案の標記見直しに関する意見募集がきている。内容としては、初期研修は原則として出身大学の都道府県で行うなど、地域密着型の医師養成を目指すとしている。この提案内容に意見がある場合、1月28日（金）までに事業第三課宛連絡いただきたい。

道総医協関連事項（三宅副会長）

1. 地域医療専門委員会周産期医療小委員会[1月20日(木)]について（目黒常任理事）

今年度内に策定する「北海道周産期医療体制整備計画」(案)、「総合周産期母子医療センター指定及び地域周産期母子医療センター認定要領の改正」(案)について協議した。また、本委員会を国の周産期医療体制整備指針に基づき設置する協議会として位置付けるため、名称を「北海道周産期医療検討委員会」に変更することが了承された。

道医の動き

- 1月11日 三役会、第20回常任理事会、広報委員会、外部監査
- 1月12日 ほっかいどう健康塾に関する読売新聞との打合せ、緊急臨時的医師派遣事業運営委員会、日医救急災害医療対策委員会（目黒常任理事）
- 1月13日 日医産業保健委員会（小山常任理事）、日医介護保険委員会（前川常任理事）
- 1月14日 支払基金北海道支部との打合せ、北海道厚生局との打合せ、外部監査、日医勤務医委員会（榊山常任理事）
- 1月15日 女性医師と医学生のおしゃべりフォーラム
- 1月16日 予算関係三役・担当部長会議
- 1月18日 日医理事会（長瀬会長）、都道府県医師会長協議会（長瀬会長、三宅副会長）
- 1月19日 日医会長選挙制度に関する検討委員会（長瀬会長）、日医社保診療報酬検討委員会（藤原常任理事）、都道府県医師会共同利用施設担当理事連絡協議会（北野常任理事、伊藤理事）、日医医師会共同利用施設検討委員会（伊藤理事）
- 1月20日 日医広報委員会（山科常任理事）、日医学校保健委員会（三戸常任理事）
- 1月21日 北海道医療・福祉関係職能団体等懇談会、日医男女共同参画委員会（藤井常任理事）
- 1月23日 かかりつけ医認知症対応力向上研修
- 1月25日 三役会、第21回常任理事会、総務部・財務部合同担当理事会
- 1月26日 医事紛争処理委員会
- 1月27日 保険医療医師研修懇談会（江別市、長

瀬会長、三宅副会長、榊山・藤原各常任理事）、産業保健活動推進全国会議（畑副会長）

- 1月28日 日医地域医療対策委員会（三宅副会長）、地域医療福祉情報連携協議会発足記念シンポジウム（直江常任理事）
- 1月29日 産業保健研修会、道内急病センター（診療所）連絡会
- 1月30日 救急医療研修会、救急医療対策部会全体会議、救急医療部担当理事会、女性医師支援センター事業ブロック会議（青森県、藤井常任理事）
- 1月31日 知事との懇談会
- 2月1日 労災四者懇談会
- 2月2日 内部監査、日医医療政策シンポジウム（直江常任理事）、日医看護職員検討委員会（北野常任理事）、日医病院委員会（直江常任理事）
- 2月3日 日医公衆衛生・がん対策委員会（畑副会長）、日医医療安全対策委員会（橋本常任理事）、日医医療IT委員会（水谷常任理事）
- 2月4日 指導医のための教育ワークショップ講師打合せ、全国メディカルコントロール協議会連絡会（松山市、目黒常任理事）
- 2月5日 指導医のための教育ワークショップ（～6日）
- 2月7日 三役会、地域医療再生計画に関する道との打合せ
- 2月8日 第22回常任理事会、広報委員会、医療安全部担当理事会、精神科救急医療に関する道との打合せ
- 2月9日 日医労災・自賠責委員会（深澤常任理事）、日医有床診療所に関する検討委員会（沖理事）
- 2月10日 茨城県医師会との懇談会、日医介護保険委員会（前川常任理事）